



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月3日

上場会社名 日本梱包運輸倉庫株式会社

上場取引所 東

コード番号 9072 URL <http://www.nikkon.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 黒岩 正勝

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経理部長 (氏名) 森田 泰典

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

TEL 03-3541-5331

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	35,484	22.7	3,245	249.9	3,397	199.4	1,818	285.6
24年3月期第1四半期	28,912	△5.5	927	△59.6	1,134	△48.1	471	△58.7

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 751百万円 (455.2%) 24年3月期第1四半期 135百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	26.11	26.08
24年3月期第1四半期	6.77	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	179,567	126,348	70.3
24年3月期	187,137	126,581	67.6

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 126,232百万円 24年3月期 126,459百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	8.00	—	14.00	22.00
25年3月期	—				
25年3月期(予想)		12.00	—	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	68,500	12.4	6,000	70.1	6,400	71.7	3,800	107.4	54.56
通期	137,000	4.8	12,000	17.8	12,800	13.6	7,800	27.6	112.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
② ①以外の会計方針の変更： 無
③ 会計上の見積りの変更： 有
④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期1Q	74,239,892 株	24年3月期	74,239,892 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	4,600,759 株	24年3月期	4,600,619 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期1Q	69,639,129 株	24年3月期1Q	69,648,313 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(5) セグメント情報等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興需要やエコカー補助金の政策効果などにより緩やかに回復が見られるものの、円高の長期化や欧州債務危機、新興国の経済減速など依然として不透明な状況が続いております。

当物流業界におきましても、企業の生産活動の正常化や震災からの復興需要により、貨物取扱量は回復してまいりましたが、燃料価格の高止まりや競争の激化などにより厳しい経営環境が続いております。

このような状況下、当社グループにおきましても主要顧客である自動車業界の生産・販売が回復したことや復興需要の後押しもあり、売上高は前年同期に比べ65億71百万円増の354億84百万円となりました。

営業利益につきましては、売上高の増加や業務の効率化を推進した結果、前年同期に比べ23億18百万円増の32億45百万円となりました。

経常利益につきましては、前年同期に比べ22億62百万円増の33億97百万円となりました。その要因といたしましては、営業外収益が持分法による投資利益の増加や営業所設備移設や福島原発事故による補償金などにより、前年同期に比べ1億19百万円増の5億19百万円となった一方、営業外費用が投資有価証券評価損の増加により前年同期に比べ1億74百万円増の3億67百万円となったことによるものであります。

この結果、四半期純利益につきましては、前年同期に比べ13億46百万円増の18億18百万円となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① 運送事業

エコカー補助金の効果などにより、当社グループの主要顧客である自動車業界の貨物取扱量が回復したことや、中越テック㈱及び札幌新聞輸送㈱の2社が今年から決算期を12月から3月に変更したことに伴い、当第1四半期連結累計期間において6ヶ月分の財務諸表を連結したことなどにより、売上高は前年同期に比べ41億42百万円増の184億41百万円となりました。営業利益は、燃料価格は高止まりしているものの、増収効果などにより前年同期に比べ7億76百万円増の9億16百万円となりました。

② 倉庫事業

保管貨物量の回復や新規業務の獲得などにより、売上高は前年同期に比べ3億86百万円増の47億55百万円となりました。営業利益は、保管効率の向上や固定費の削減などにより、前年同期に比べ2億49百万円増の12億47百万円となりました。

③ 梱包事業

当社グループの主要顧客である自動車業界の貨物取扱量が回復したことなどにより、売上高は前年同期に比べ15億35百万円増の85億49百万円となりました。営業利益は、売上高の増加や業務の効率化などにより前年同期に比べ6億74百万円増の7億2百万円となりました。

④ テスト事業

業務量の回復や新規業務の獲得により、売上高は前年同期に比べ6億27百万円増の24億43百万円となりました。営業利益は、従業員の増員に伴う人件費の増加等がありましたが、増収効果により前年同期に比べ3億67百万円増の1億1百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は489億57百万円となり、前連結会計年度末に比べ51億61百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が21億10百万円、有価証券が15億67百万円、受取手形及び売掛金が15億29百万円、それぞれ減少したことによるものであります。固定資産は1,306億10百万円となり、前連結会計年度末に比べ24億7百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産が1億5百万円、投資有価証券が24億32百万円、それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、総資産は1,795億67百万円となり、前連結会計年度末に比べ75億69百万円減少いたしました。

② 負債

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は383億7百万円となり、前連結会計年度末に比べ64億66百万円減少いたしました。これは主に短期借入金が50億38百万円、支払手形及び買掛金が24億81百万円、未払法人税等が19億1百万円、それぞれ減少した一方、電子記録債務が21億53百万円増加したことによるものであります。固定負債は149億11百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億70百万円減少いたしました。これは主に繰延税金負債が7億7百万円、長期借入金が1億80百万円、それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は532億18百万円となり、前連結会計年度末に比べ73億36百万円減少いたしました。

③ 純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産は1,263億48百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億32百万円減少いたしました。これは主に利益剰余金が8億43百万円増加し、その他有価証券評価差額金が12億92百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は70.3%（前連結会計年度末は67.6%）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成24年5月9日に発表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の連結グループ各社の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)

従来、連結子会社のうち、中越テック(株)、札幌新聞輸送(株)、日梱物流(中国)有限公司、NK BRASIL LOGISTICA LTDA. 及びNKP MEXICO, S. A. DE C. V. の決算日は12月31日とし、連結財務諸表の作成に当たっては同日現在の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行ってまいりました。この度、より実態に即した経営情報を把握するために、当第1四半期連結会計期間より、決算日変更の対応が可能となった中越テック(株)及び札幌新聞輸送(株)について、決算日を年3月31日に変更しております。これにより、中越テック(株)及び札幌新聞輸送(株)については、平成24年1月1日から平成24年6月30日までの財務諸表を連結しております。

この結果、当連結会計累計期間の売上高が15億16百万円、営業利益が1億21百万円、経常利益が1億50百万円、税金等調整前四半期純利益が1億63百万円それぞれ増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成24年 6 月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,666	11,555
受取手形及び売掛金	27,089	25,559
有価証券	9,819	8,252
商品及び製品	10	17
原材料及び貯蔵品	475	429
繰延税金資産	1,469	1,479
その他	1,602	1,671
貸倒引当金	△14	△8
流動資産合計	54,119	48,957
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	39,240	38,916
機械装置及び運搬具（純額）	1,967	1,982
工具、器具及び備品（純額）	704	717
土地	61,943	61,889
リース資産（純額）	127	185
建設仮勘定	676	861
有形固定資産合計	104,659	104,553
無形固定資産	1,435	1,459
投資その他の資産		
投資有価証券	23,500	21,068
長期貸付金	128	120
繰延税金資産	1,650	1,670
その他	1,760	1,857
貸倒引当金	△115	△120
投資その他の資産合計	26,924	24,597
固定資産合計	133,018	130,610
資産合計	187,137	179,567

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成24年 6 月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,393	9,911
電子記録債務	—	2,153
短期借入金	7,180	2,141
1年内償還予定の社債	10,400	10,400
リース債務	59	70
未払法人税等	3,244	1,343
賞与引当金	2,485	3,132
役員賞与引当金	150	37
設備関係支払手形	627	909
その他	8,231	8,206
流動負債合計	44,773	38,307
固定負債		
社債	400	400
長期借入金	4,688	4,507
リース債務	70	121
繰延税金負債	4,124	3,417
退職給付引当金	5,289	5,351
役員退職慰労引当金	227	164
その他	980	948
固定負債合計	15,782	14,911
負債合計	60,555	53,218
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,316	11,316
資本剰余金	12,332	12,332
利益剰余金	103,773	104,616
自己株式	△6,136	△6,136
株主資本合計	121,285	122,128
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,134	5,841
為替換算調整勘定	△1,960	△1,738
その他の包括利益累計額合計	5,173	4,103
新株予約権	63	63
少数株主持分	58	52
純資産合計	126,581	126,348
負債純資産合計	187,137	179,567

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	28,912	35,484
売上原価	26,233	30,545
売上総利益	2,679	4,939
販売費及び一般管理費	1,751	1,693
営業利益	927	3,245
営業外収益		
受取利息	59	49
受取配当金	105	120
受取賃貸料	16	18
持分法による投資利益	49	94
受取補償金	—	133
雑収入	168	102
営業外収益合計	400	519
営業外費用		
支払利息	92	69
為替差損	45	84
投資有価証券評価損	27	196
雑支出	28	17
営業外費用合計	192	367
経常利益	1,134	3,397
特別利益		
固定資産売却益	7	65
負ののれん発生益	—	2
特別利益合計	7	68
特別損失		
固定資産売却損	4	2
固定資産除却損	12	1
投資有価証券売却損	—	1
持分変動損失	7	—
特別損失合計	24	5
税金等調整前四半期純利益	1,117	3,460
法人税等	687	1,640
少数株主損益調整前四半期純利益	430	1,820
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△40	2
四半期純利益	471	1,818

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	430	1,820
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△130	△1,292
為替換算調整勘定	△176	201
持分法適用会社に対する持分相当額	11	22
その他の包括利益合計	△295	△1,069
四半期包括利益	135	751
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	173	747
少数株主に係る四半期包括利益	△38	3

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	運送事業	倉庫事業	梱包事業	テスト事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	14,299	4,368	7,014	1,816	27,498	1,414	28,912
セグメント間の内部 売上高又は振替高	31	88	151	2	273	294	568
計	14,330	4,457	7,165	1,818	27,771	1,709	29,480
セグメント利益 又は損失(△)	140	998	28	△266	901	△42	858

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、通関事業及び自動車の修理事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	901
「その他」の区分の損失	△42
その他の調整額(注)	68
四半期連結損益計算書の営業利益	927

(注) その他の調整額は、営業取引と営業外取引の消去時に生じる差額であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	運送事業	倉庫事業	梱包事業	テスト事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	18,441	4,755	8,549	2,443	34,189	1,294	35,484
セグメント間の内部 売上高又は振替高	22	49	87	—	160	276	437
計	18,464	4,805	8,636	2,443	34,349	1,571	35,921
セグメント利益	916	1,247	702	101	2,968	203	3,171

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、通関事業及び自動車の修理事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,968
「その他」の区分の利益	203
その他の調整額(注)	74
四半期連結損益計算書の営業利益	3,245

(注) その他の調整額は、営業取引と営業外取引の消去時に生じる差額であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要性が乏しいため記載を省略しております。